

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年 2月 6日

【評価実施概要】

事業所番号	0172902702		
法人名	有限会社 Freedom		
事業所名	グループホーム プランタンV		
所在地	旭川市9条通15丁目24番地 (電 話) 0166-25-0656		
評価機関名	(有)ふるさとネットサービス		
所在地	札幌市中央区北1条西5丁目3 北1条ビル3階		
訪問調査日	平成21年 2月 6日	評価確定日	平成21年3月30日

【情報提供票より】 (21年1月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成18年3月31日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤 6人、 非常勤 10人、 常勤換算	13.7人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート造り		
	2階建ての	1～2 階部分	

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	25,000円	その他の経費(月額)	円
			円
敷 金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		1,200 円

(4) 利用者の概要 (1月1日現在)

利用者人数	18名	男性	5名	女性	13名
要介護1	0名	要介護2	5名		
要介護3	6名	要介護4	4名		
要介護5	3名	要支援2	0名		
年齢	平均 84歳	最低	62歳	最高	96歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	旭川ペインクリニック、東郷整形外科医院、林歯科
---------	-------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは市内中心部にあり、市役所・学校・スーパーが近くにあり、またすぐそばには牛朱別川が流れているなど、環境にも恵まれている地域である。近くの学校からの職場体験や訪問と盛んに交流が行なわれ、利用者の楽しみの一つにもなっている。平均年齢30歳代という若い職員たちが理念である「日々の暮らしに和やかさを実感してもらい、個性を尊重して健康で毎日を送ってもらおう」というあくまでも、当たり前で普通の家として生活し、自分たちは子であり孫という家族目線に立って、支えあって暮らしていくことに努めている。整骨院が併設されており、施術のサービスも組み込まれ、心身の機能維持・向上に努めるなど、今後ますます期待できるホームである。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の課題への取り組みは、職員ミーティングで話し合い、理念・市との連携・居室の配慮などに積極的に改善の努力が図られている。ほかの項目についても引き続き真摯に取り組んでいる。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	今回の自己評価では、全員で取り組み、反省も踏まえ新たな気づきがあるなど、率直な意見も多くあり、サービスの質の改善・向上の良い機会になっている。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	会議は、提携看護師の参加をいただき、医学面でのアドバイスとともにホームの方針などが話し合われている。町内会はドーナツ化現象などもあって活性化されていず、町内関係者の出席は少ない。町内会長自体も会員の高齢化を憂いており、この機会に相互協力体制を整え、メンバー構成も内容に応じて臨機応変に募るなど、魅力ある会議の運営が期待される。地域全体の今後のケアの在り方の方向性を見つけられることを期待している。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	家族からの意見・要望や苦情は、家族の来訪時の会話からうかがうことが多く、利用者だけでなく家族とも何でも話し合え、後に残さない関係作りをしており、即決で答えられるように努めている。その結果や内容についても再度ミーティングで話し合い確認し、職員全員で共有しケアサービスに反映させている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	二つの中学校が行なう職場体験や歌や音楽の披露があるなど、生徒と利用者の交流は広がりを見せていますが、近隣の住民との交流は、職員が必要性を認識しているものの地域住民の高齢化などもあって、十分とは言えない状況である。また、災害時の協力支援や環境整備にほかのホームと協力体制をとって働きかけ、ホームと地域の双方向的な関係作りを期待している。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	一人ひとりの個性を大切にして、あくまでも普通の家庭として、日々の暮らしを途切れなく支えていくというホーム独自の理念を作り上げている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	「理念」は、随所に掲げられ日々の業務の中で、常に意識して、ケアサービスの実践に取り組んでいる。またミーティングの中でも確認されて、職員全体で共有している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	近隣の中学校の職場体験の中で介護実習や歌の披露の交流が多くあり、利用者の楽しみになっている。介護実習を通してケアの還元にも努めている。しかし町内会自体が地域性などもあって活性化されていないため、日常的な交流までの関係はできてない。	○	管理者は地域交流の重要性は理解しているが、地域性もあって十分な状況には至っていない。近隣のグループホーム・高齢者下宿などと協力して、大きな声として地域へ働きかけられることを期待する。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価の意義を、職員全員が、自分たちの問題として取り組み、気づきやケアの振り返り、反省なども含めて意見を出し合い、改善課題を確認し、サービスの向上に努めている。		

旭川市 グループホーム プランタンV

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	介護だけでなく医療問題など家族・利用者の不安なことについて、看護師や病院関係者からの報告説明が行なわれ、ケアの充実を図っている。しかし会議を構成するメンバーに、地域関係者が少なく、本来の会議の趣旨から十分とは言えない。	○	運営推進会議開催は外部の人々の目を通してホームのパワーアップを図れる良い機会である。内容に応じて臨機応変に多種の方々に参加していただき、ホームの理解を深めていただくとともに、地域の認知症ケアの拠点として、多くの住民の方々が係わっていただけることを期待している。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市役所に近いという利点を生かし、介護高齢課や地域包括センターに積極的に訪問し、情報収集に努め、サービス向上につなげている。また糖尿病食の相談を市栄養士に相談するなど、適時話し合いの機会を持ち協働関係を築いている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	「プランタン通信」にイベントの写真を掲載し、必ず生活状況など一言添えて請求書とともに発送している。「自宅ではなかなか笑顔が見れなかったのに」と家族に大変好評である。健康状態に変化がある場合は電話による報告をしている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の面会も多く、その来訪時に職員が積極的に働きかけ、その会話の中から苦情や要望を伺うようにしている。意見や要望などがあった場合は、家族に不安を与えないように管理者が即決で答えることを信条としている。その結果について再度会議で確認し、共有している。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	管理者はできるだけ職員の異動を避けるように心がけているが、系列グループ内やユニット間の異動の際には、利用者への説明とともに不安を与えないように職員間でチーム編成し、ホーム全体として取り組んでいる。		

旭川市 グループホーム プランタンV

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	ホーム外での研修には多くの職員が受講できるようシフト変更・調整するなど、工夫しているが全員参加にまでは至っていない。研修終了後はミーティングを通じて職員全員が共有する体制作りがされている。	○	職員全員が実務に支障がないように外部研修の受講機会が得られるよう体制作りをし、内部研修の充実につなげ、ホームの質向上に活かされることを期待している。また職員が「働きながら学ぶ」ことを習慣づけられる方策の工夫を期待している。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	系列グループホーム内で行われる食事部会・夜勤者部会・入浴部会・イベント企画部会などにおける勉強会に積極的に参加している。それらの交流を通じて、ホームに持ち帰り各職員へ報告し、サービスの向上に向けて協働体制をとっている。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居を前にしての面談では、必ずホーム見学をしていただくとともに、家族・ケアマネ・関係者からの情報収集を十分に行ない、利用者が無理なく信頼関係が築ける対応を心掛けている。不穏なときには、家族がすぐ駆け付けていただける体制を作っている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者は人生の先輩であるという意識を職員は常に持ちながら、また家族として嫁・子・孫父・母でもあるという、暮らしの中で分かち合い・ともに支えあえる関係作りに留意し、和やかな生活ができるよう場面作りの提供を心掛けている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	生活歴や家族からの情報収集とともに、日々の係わりの中での言葉・表情から真意を押し測ったり、確認するようにし、できるだけ正確に把握するように努めている。把握した内容を職員全員で共有し、日々のケアに活かしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者や家族の希望・意見を尊重し、職員全員で、意見交換し、モニタリング・カンファレンスを行ない、介護計画に反映させている。利用者と家族が納得していただける計画作りをしている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の見直しについては定期的に行なわれており、体調の変化時は、利用者・家族・職員からの情報を確認し、計画を作成している。職員は変化の兆しを見逃さないように努めている。	○	見直しを図る上で、介護計画の遂行状況・効果などを評価するには、職員が記録する日々の状態変化と状況が、現状の介護計画に連動していることが必要である。実情に応じたケアにつながるためにも、日々の記録方法の工夫を期待している。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	病院への送迎は、家族の状況に合わせて、対応して、管理者・看護師による同行介助も行なっている。また施術サービスもあり、心身の機能維持に役立っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医の定期的な受診や協力医療機関の往診・送迎バスつきの受診のほか、契約看護師による日常的な健康管理が継続して行なわれている。かかりつけ医への受診は、基本的には家族で対応していただいているが、時には職員が同行し医療機関と連携を取り、状態把握に努めている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	医療連携体制の指定を受け、入居時に意思確認書を作成し、ホームができるケアについて説明しているが、対応指針、同意書については作成されていない。	○	利用者・家族の安心と納得がいただけるよう、関係者全体の方針の統一化を図っていくことが必要不可欠であり、対応指針、同意書の作成を早急に取り組みされることを期待している。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員の意識向上を図り、日々のかかわり方も、相手を尊重した対応を心掛けている。記録の取り扱い、個人情報にも細心の注意を払っている。	○	個人情報保護法の観点からも、面会簿は個票の利用または記録の方法に工夫し、また書類の管理徹底など、改善策の検討が望まれる。各居室にトイレがあり、安全配慮や排泄リズムの把握などのため、ドアが開けられていることが多い。長めの「のれん」や目隠しの工夫をするなど、プライバシーの確保の徹底に努められることを期待している。
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ホーム内では、大まかな一日の流れが決められているが、時間にとらわれることなく、利用者の状況に合わせて、臨機応変に対応している。自由に過ごせるよう、さりげなく支援するようにしている。		

旭川市 グループホーム プランタンV

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事中はできる限り食事に集中していただき、食後に触れ合う時間を多く取るようにしている。今、食べた物の話など、会話が弾むように支援している。後片づけのお盆拭きなどは、利用者の力量に合わせて、楽しく行なえるよう一緒に行なっている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は週2回以上と定めているが、利用者の状況やタイミングに合わせて対応している。1階の浴室は温泉気分が味わえるほどの大きさで、利用者の能力に応じてユニット間で使い分けている。清拭、シャワー浴も併せて行なうなどの支援が続けられている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	得意分野での一人ひとりの力を発揮していただける場面作りを提供している。職員も積極的に声をかけ、煮物の味付け・味見など力量に合わせた支援をしている。その際は感謝の言葉を忘れないようにしている。カラオケも全員が楽しめるよう工夫している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	街中であるという利点を活かし、買物、散歩など日常的な外出支援を行なっている。ホームには広いベランダがあって、夏・冬の花火大会鑑賞や気分転換にと戸外の空気に触れるなど、五感刺激の機会としている。現在、家族も一緒に外出できる環境作りを検討中である。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員は鍵をかけることの弊害を理解しており玄関の施錠はしていない。一人ひとりの状態をきめ細かくキャッチし、また職員の見守り方法を徹底し、さりげなく声をかけるなど、自由な暮らしを支えるようにしている。		

旭川市 グループホーム プランタンV

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	警備会社主催により、年2回利用者が参加しての避難訓練は実施されている。連絡網も整備され、緊急時の利用者の動向の把握に努めている。しかし地域の方々への働きかけは十分とはいえない。	○	職員だけの誘導の限界を認識し、近くの施設と話し合いや具体的な支援体制に取り組み、協力関係を持って、地域に働きかけし、理解や協力体制をいただけることが重要である。また、救急救命の訓練などを通して万全の取り組みを期待している。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	市栄養士に相談をしたり、グループ内での食事部会に参加し、献立や栄養バランスの把握に努めている。食事量や水分摂取量は、一覧表にして常にチェックされて、利用者の状況を逐次把握し、適切な支援ができるようにしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	二つのユニットは一・二階に分けられており、利用者の特性に合わせた居室作りがされている。一階にはカラオケ設備とともにソファの配置など、利用者が思い思いの場所で、ゆったりとくつろげる空間になっている。二階は徘徊の利用者に合わせ、広々と開放的な空間を取り、転倒の不安なく安全に過ごせるよう配慮がされてる。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者の使いなれたものや好みのものを持ち込んでいただいている。仏壇の持ち込みも、お坊さんの来訪など、以前の生活と大差がないように配慮している。居室の掃除なども利用者の力量を確かめながら、共に行なうよう支援してる。		

※ は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。